

平成 3 1 年 第 3 回
富 山 県 教 育 委 員 会 会 議 録

I 開会及び閉会の日時

平成 31 年 3 月 4 日 (月)

開会午後 1 時 00 分、閉会午後 1 時 47 分

II 場所

教育委員会室

III 出席委員

1 番 鳥海 清司

2 番 山崎 弘一

3 番 町野 利道

4 番 藤重 佳代子

5 番 村上 美也子

教育長 渋谷 克人

IV 説明出席者

教育次長 坪池 宏

教育次長 布野 浩久

教育企画課長 津田 康志

生涯学習・文化財室長 菊池 政則

教職員課長 坂林 根則

県立学校課長 本江 孝一

小中学校課長 金谷 真

保健体育課長 東瀬 義人

V 傍聴人数 1 人

VI 会議の要旨

午後 1 時 00 分、渋谷教育長が開会を宣する。

1 議決事項

議案第 6 号 平成 31 年度富山県教育委員会重点施策に関する件

教育企画課長から説明し、原案のとおり可決した。

2 報告事項

(1) 平成 31 年度富山県立学校入学者選抜の志願状況等について

(2) 2020 年度 (平成 32 年度) 以降における県立・私立高等学校入学定員割合 (公私比率) について

県立学校課長から説明した。

3 その他

今後の教育委員会等の日程について

教育企画課主幹から説明した。

4 議決事項

午後 1 時 20 分、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書の規定に基づき、

議案第 7 号及び議案第 8 号については委員全員の同意により会議を非公開とすることを可決し、議事の審議に入った。

議案第 7 号 平成 31 年 2 月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件

議案第 8 号 教育職員の人事異動に関する件

5 議事

○報告事項について

報告事項 (1) 関係

〔町野委員〕

・定時制の募集定員が 840 人に対して志願者は 322 人であり、すごく少ないがこれは年によって大きくばらつくのか。

〔県立学校課長〕

・ほぼ同じ値となっている。ちなみに昨年は 0.37 倍である。

〔町野委員〕

- ・大きな差のままにしてあるのは、何か理由があるのか。

〔県立学校課長〕

- ・定時制の高校は、こうした形で新規で入学を志願する数は0. 数倍ということだが、全日制で学ぶことが難しく、不登校の経験があるとか、多様な生徒が志願をしてきている。そして各学科を設けているが募集定員は1学級40人を標準とするとしているため、40人単位で募集しており、結果的にこういう形となっている。

〔町野委員〕

- ・1学級40人とは法律で決まっており、そうしないといけないということか。

〔県立学校課長〕

- ・そうである。標準とするというふうにある。

〔教育長〕

- ・できないわけではないが、担当課長から申し上げたとおり、いろんな特別な支援それからいろんな事情がある中で、学校に行く子ども達にとって最後のとりでとなっているので、門構えは大きくという形。しかも学科は複数用意しているので、こういう形になっている。

〔町野委員〕

- ・ここは非常に大事なところなので。

〔山崎委員〕

- ・中学校卒業生数がピークを迎えた昭和63年頃に比べると、募集定員は半分くらいになっていると思う。非常に子どもが少なくなってきたと実感させられるが、志願者数ということでみると、昨年より数は若干なりとも増えているのか。

〔県立学校課長〕

- ・志願者数は減っている。記録が残る平成11年度以降最低の数となっている。

〔山崎委員〕

- ・この前発表された入学者選抜の最終志願状況の一覧をもらっているが、中学校において、行きたい学校、学科を受けるようにさせる指導がなされていることもあってか、形の上で欠員のようになっている学校、学科がたくさんあると思う。昨年もこのくらいあったのか。

〔県立学校課長〕

- ・倍率が1倍未満だった学校、学科数は、今回については17校25学科となっている。ただ、学科の数え方は、例えば中央農業高校は3学科カウントしていたりする。ちなみに昨年度は18校、24学科である。

〔山崎委員〕

- ・中学校で、受けたいところを受けるようにという指導を行っていることもあって、結果として、志願者数が定員に満たない学校、学科が多くなっているのではないかと思う。

〔教育長〕

- ・私学への専願が増えているのではないかということもある。私の時代は両方受けていたので、今年度から初めて入学者選抜の1に書いてあるように、通常の検査が今週末に行われるが、追検査という形でインフルエンザ対応を実施する。初めてのことなので、各学校現場では慎重に対応するようにと考えている。

〔村上委員〕

- ・今年は温暖化の影響で、早くから暖かくなっているのでインフルエンザはすごく少ないと思う。ピークからおさまるまでが、早かった。寒い時期は流行るが、例年に比べると少ないと思う。

〔山崎委員〕

- ・インフルエンザ対応としての追検査については、実際行われることは極めて少ないと思うが、万が一そういった対応が必要な場合は混乱のないように的確に対応していただきたいと思う。

報告事項（2）関係

〔山崎委員〕

- ・ここ数年来の定時制や高専などの入学状況を踏まえて全体としては、県立も私立も定員割合を増やしたと

ということだが、定時制昼間単位制の入学者数も減ってきているのか。

〔県立学校課長〕

- ・定時制の部分と国立・高専の合格者はここ2年少なくなっている。国立・高専については、以前定員をオーバーするような形で合格者を出していたということもある。最近は落ち着いているが、そういったことも反映されて、全日制の割合の方が増加している。

〔山崎委員〕

- ・全体として、県立で言えば前に比べて0.6%程増えるということなので、クラス数に当てはめるなら、1クラス分と思えば良いのか。

〔県立学校課長〕

- ・0.6ポイントなので1万人であれば60人だが、9500人くらいになっているので、大雑把に1クラス分ぐらいだろうと思う。

午後1時47分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。